

科目名		授業形態	担当教員名	
老年期障害治療学Ⅰ		講義	岡田 誠暁	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間 （ 1 単位）		15 回	2 年次	前期
授業の目的・概要				
高齢化に伴い、疾患や障害像が多様化しており、作業療法のニーズが高まっている。ここでは、一般的高齢者の特徴を学んだ後、近年急激に増加している認知症について医学的知識を深め、作業療法士の役割を学ぶ。また、特に実践現場で多い疾患や排泄障害についての医学的知識を学んだうえで作業療法士の役割を学ぶ。				
授業の到達目標				
1. 老年期の一般的特徴を説明できる。 2. 高齢者との接し方について説明できる。 3. 老年期に多い疾患について説明できる。 4. 認知症の症状や特徴について説明ができる。		5. 認知症の方への対応について説明ができる 6. 排泄障害について説明できる。 7. 排泄障害への対応について説明ができる。 8. 高齢者体験を通して高齢者の気持ちが想像できる。		
授業計画				
回	内容			
1	オリエンテーション 高齢者医療とリハビリテーション			
2	高齢化について 老年期作業療法の役割			
3	老年期作業療法の制度的位置づけ（介護サービス・住宅改修）			
4	老年期の特徴 加齢に伴う変化①			
5	老年期の特徴 加齢に伴う変化②			
6	老年期の特徴 加齢に伴う変化③			
7	老年期の特徴 高齢者体験			
8	フレイル・サルコペニア 高齢者と薬物療法			
9	高齢者へのアプローチ・接し方			
10	認知症の定義 MCI アルツハイマー型・レビー小体型認知症			
11	前頭側頭型・脳血管性認知症 その他認知症			
12	認知症の症状と理解 中核症状と周辺症状 概論			
13	認知症の症状と理解 中核症状と周辺症状 事例			
14	排泄障害と作業療法 排泄の仕組みとその対応			
15	排泄障害と作業療法（オムツ体験）			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験	70%	上記授業内容に応じた試験により評価を行う		
レポート・課題	20%	認知症・排泄障害のレポートで評価する		
小テスト				
平常点				
その他	10%	準備物や高齢者体験等への参加態度で評価する		
自由記載				
教科書				
書名		著者・編集者名	出版社名	
最新リハビリテーション基礎講座 老年学		荒井秀典・山田実	医歯薬出版	
自由記載				
参考文献				
書名		著者・編集者名	出版社名	
標準理学療法学・作業療法学 老年学 第5版		大内尉義	医学書院	
老年期の作業療法 改訂第3版		浅海奈津美・守口恭子	三輪書店	
自由記載				
備考				
授業の予定は、前後変更する可能性があります。変更の場合は随時通知する。				